

三本木霊園に 合葬墓の設置を

市民ニーズ等を踏まえながら 調査研究を進めたい



久慈年和
(市民連合クラブ)

議員 三本木霊園への合葬墓の設置を調査研究した結果は。

民生部長 合葬墓を望む方がふえています。市内には合葬墓を設けた寺があるため、今は設置を考えていません。しかし自治体による設置もふえていますので、調査研究を進めます。

議員 市民は市営の霊園に合葬墓を望んでいる。市が霊園を運営している理由は。

民生部長 墓地の经营主体は原則地方公共団体にされており、将来にわたって安定的な運営を行うことができ、住民が安心して利用できることなどからです。

議員 県内他市での合葬墓の設置状況は。

民生部長 弘前市で設置しています。ほかに青森市が平成31年度から、八戸市が平成32年度から設置を予定していると聞いています。

議員 八戸市は市民アンケートを実施して合葬墓の設置を決めた。当市でも市民アンケートを行う考えは。

民生部長 市民ニーズを把握する上で有効な手段と考えますので、検討したいと考えています。



安全で安心な水の確保を

議員 水道水の源地はどこか。

上下水道部長 新田地区3カ所と芳川原1カ所の浅井戸4カ所から取水しています。

議員 水源地の保護は確保されているのか。

上下水道部長 原水等の水質検査を毎月実施しています。特に新田地区の水源地は水田地帯にあるので、農薬・堆肥・化学肥料等の影響について年1回の農薬類検査を実施していますが、水質に影響を及ぼす成分は検出されていません。



今泉信明
(市民連合クラブ)

中央病院の

救急患者受け入れ状況は

増加傾向にあり

経営にもプラス

議員 中央病院での救急患者の受け入れ件数の推移は。

病院事務局長 月平均で、平成26年度は約790件、平成27年度は約730件、平成28年度は約730件、平成29年度は約750件、平成30年度は約800件の見込みです。

議員 周辺町村からの受け入れの増加が経営に与える影響は。

病院事業管理者 受け入れ患者数やその収益は増加傾向にあり、一方で病院全体の業務及び費用負担に強い影響を与えていますので、経営にプラスに働いていると考えています。

議員 受け入れ増加の要因は。

病院事務局長 救急医療体制の充実が考えられます。

議員 野生イノシシへの豚コレラ対策は。

市長 豚コレラは昨年9月に岐阜県で発生し、感染経路の一つに野生イノシシが想定されています。発生すると経済的損失が大きいので、県は情報提供や防疫対策会議の開催等を行い、県畜産協会は消毒薬の配付や研修会を開催しています。当市も生産者への消石灰の配付等を行います。

議員 当市での野生イノシシの目撃情報や生息情報は。

議員 昨年12月に目撃情報が報道されましたが、調査しても生息を確認することはできませんでした。

議員 民間で飼育されているイノシシの情報は。

農林部長 現時点では把握していません。

議員 他自治体の対策にも目を配り対応することを要望する。



豚コレラ発生前に早期の対策・対応を